

各位

スパークス・サーベイ ―世相をスパッと一刀両断― ESG 投資に関する調査 2021

「普段の暮らしの中でサステナビリティ(持続可能性)を意識することがある」投資経験者の 75%

「ESG ファンドに興味がある」は 56%と半数超、
一方「ESG ファンドへの投資を行ったことがある」は僅か 15%

サステナブル社会の実現に向けてリーダーになってほしいアニメキャラ
「ドラえもん」がダントツ、2位「モンキー・D・ルフィ」3位「孫悟空」4位「アンパンマン」5位「竈門炭治郎」

スパークス・アセット・マネジメント株式会社 (<https://www.sparx.co.jp/>) (東京都港区。代表取締役社長 阿部修平) は、ESG投資に対する意識・実態を明らかにするため、2021年8月23日～8月24日の2日間、全国の20～69歳の投資経験者(日本株式、外国株式、公社債、投資信託、REIT、金・プラチナなどの金融資産への投資経験がある人)を対象に、「ESG投資に関する調査2021」をインターネットリサーチにより実施し、1,000名の有効サンプルを集計しました。

なお本レポートは、サンプル調査という性質上、実態を全て反映したものではありません。また、特定の投資商品や個別銘柄の取引を勧誘する目的で作成したものではありません。(調査協力会社: ネットエイジア株式会社)

▼サステナビリティに対する意識・実態 ……P.2-4

- 「普段の暮らしの中でサステナビリティ(持続可能性)を意識することがある」投資経験者の75%
- 普段の暮らしの中で行っている“サステナブルな社会の実現につながる行動”
TOP4「エコバッグを使う」「水を出しっぱなしにしない」「食べ残しをしない」「照明をつけっぱなしにしない」
「マイボトルを持ち歩く」は40代が1位、「運転の際はエコドライブをする」は50代が1位
「ゴミはしっかり分別して捨てる」は60代がダントツで年代差顕著 20代と60代で50ポイント近い差
- エコバッグの使用率 最も高いのは北陸・甲信越で75%、最も低いのは北海道・東北で60%
- 「企業は環境問題(E)に配慮した取り組みを積極的に行うべきだと思う」93%
- 「企業は社会問題(S)に配慮した取り組みを積極的に行うべきだと思う」94%
- 「企業は企業統治(G)に配慮した取り組みを積極的に行うべきだと思う」93%

▼ESG投資に対する意識・実態 ……P.5-10

- 「ESGファンドに興味がある」は56%と半数超、一方「ESGファンドへの投資を行ったことがある」は僅か15%
- 20代では63%が「ESGファンドに興味がある」、27%が「ESGファンドへの投資を行ったことがある」と回答
- ESGファンドに興味がある人の77%がESGファンドへの投資経験を持たない実状が明らかに
- ESGファンドへの投資をしている理由
TOP3「ESG投資が注目されている」「ESG投資市場が年々拡大」「ESGに取り組む企業を応援したい」
- ESGファンドへの投資に興味はあっても実際に行ったことがない理由
TOP3「始めるきっかけがない」「企業のESG活動に関する情報が少ない」「メリット・デメリットがわからない」
- 重視したいESG投資の手法 「サステナビリティ・テーマ投資」がダントツ
- どのようなESG活動に取り組む企業に投資したいと思うか？
TOP3「地球温暖化対策」「自然環境の保全」「省エネルギーの推進」、20代では「働き方改革」が1位

▼サステナブル社会のリーダーや社外取締役に対応しい人物のイメージ ……P.11

- サステナブル社会の実現に向けてリーダーになってほしい歴史上の人物
1位「徳川家康」2位「坂本龍馬」3位「織田信長」4位「渋沢栄一」5位「豊臣秀吉」
- サステナブル社会の実現に向けてリーダーになってほしいアニメキャラ
「ドラえもん」がダントツ、2位「モンキー・D・ルフィ」3位「孫悟空」4位「アンパンマン」5位「竈門炭治郎」
- 社外取締役に相応しいと思う歴史上の人物 1位「徳川家康」2位「織田信長」3位「渋沢栄一」
- 社外取締役に相応しいと思うアニメキャラ 1位「ドラえもん」2位「江戸川コナン」3位「アンパンマン」

◆◆報道関係の皆様へ◆◆

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、
「スパークス・アセット・マネジメント調べ」と付記のうえ、ご使用いただきますようお願い申し上げます。



▼サステナビリティに対する意識・実態

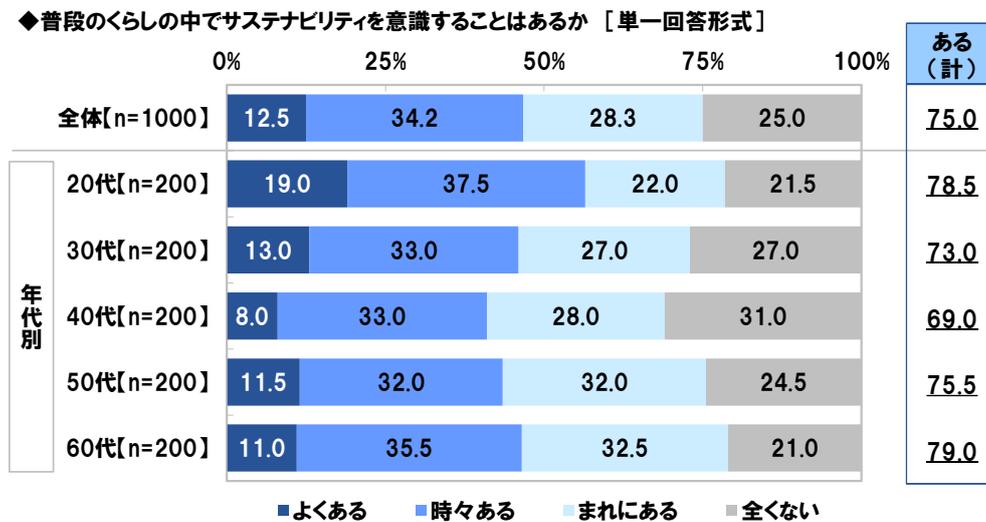
◆「普段のくらしの中でサステナビリティ(持続可能性)を意識することがある」投資経験者の75%

全国の20～69歳の投資経験者1,000名(全回答者)に、“サステナビリティ(環境・社会・経済の3つの観点から、地球や社会を持続可能にしていくという考え方)”について質問しました。

まず、全回答者(1,000名)に、普段のくらしの中でサステナビリティを意識することはあるか聞いたところ、「よくある」が12.5%、「時々ある」が34.2%、「まれにある」が28.3%で、合計した『ある(計)』は75.0%となりました。日常生活で、自然環境や人間社会の持続可能性について考える人は多いようです。

普段のくらしの中でサステナビリティを意識することがある人の割合は、60代(79.0%)が最も高く、40代(69.0%)が最も低くなりました。【図1】

[図1]



◆普段のくらしの中で行っている“サステナブルな社会の実現につながる行動”

TOP4「エコバッグを使う」「水を出しっぱなしにしない」「食べ残しをしない」「照明をつけっぱなしにしない」「マイボトルを持ち歩く」は40代が1位、「運転の際はエコドライブをする」は50代が1位
「ゴミはしっかり分別して捨てる」は60代がダントツで年代差顕著 20代と60代で50ポイント近い差

◆エコバッグの使用率 最も高いのは北陸・甲信越で75%、最も低いのは北海道・東北で60%

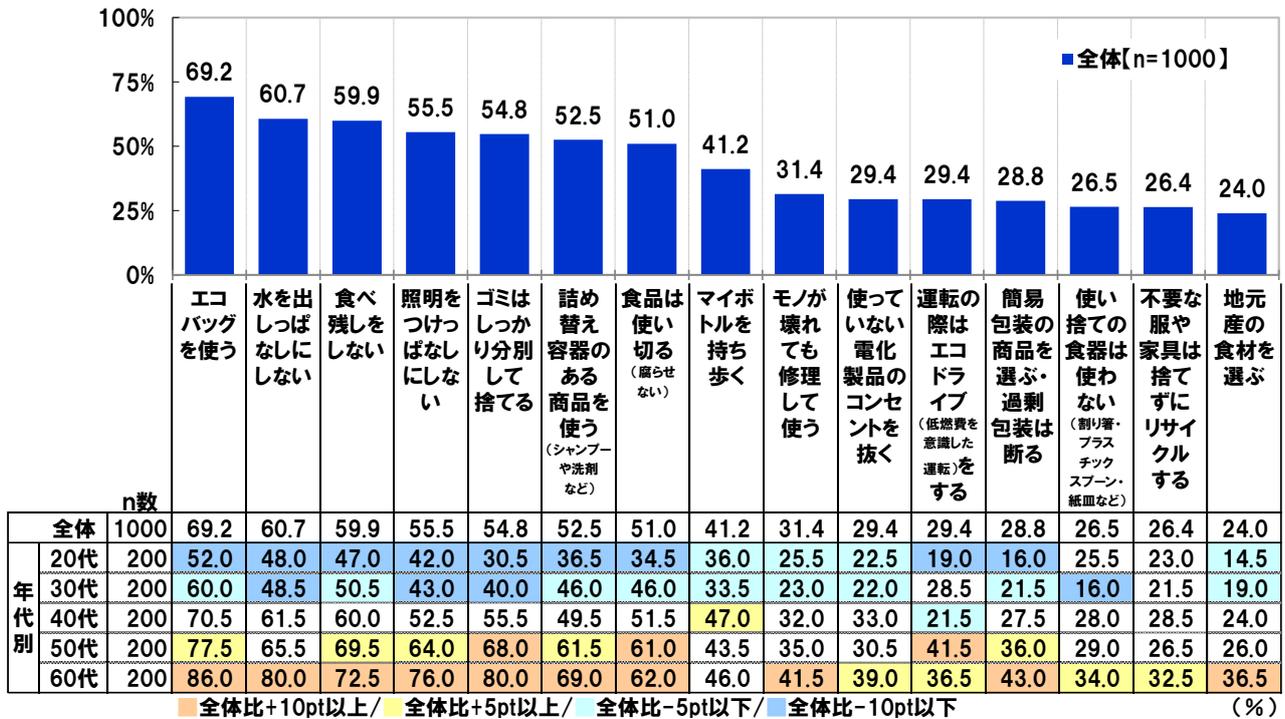
全回答者(1,000名)に、普段のくらしの中で行っている“サステナブルな社会の実現につながる行動”を聞いたところ、「エコバッグを使う」(69.2%)が最も高くなりました。次いで高くなったのは、「水を出しっぱなしにしない」(60.7%)、「食べ残しをしない」(59.9%)、「照明をつけっぱなしにしない」(55.5%)、「ゴミはしっかり分別して捨てる」(54.8%)でした。

年代別にみると、多くの行動で60代が最も高くなったほか、「マイボトルを持ち歩く」は40代(47.0%)が1位、「運転の際はエコドライブ(低燃費を意識した運転)をする」は50代(41.5%)が1位となりました。また、「ゴミはしっかり分別して捨てる」では、20代(30.5%)と60代(80.0%)で50ポイント近い年代差が開く結果となりました。【図2】

「エコバッグを使う」の割合を居住エリア別にみると、北陸・甲信越(75.0%)が最も高くなり、北海道・東北(59.6%)が最も低くなりました。【図3】

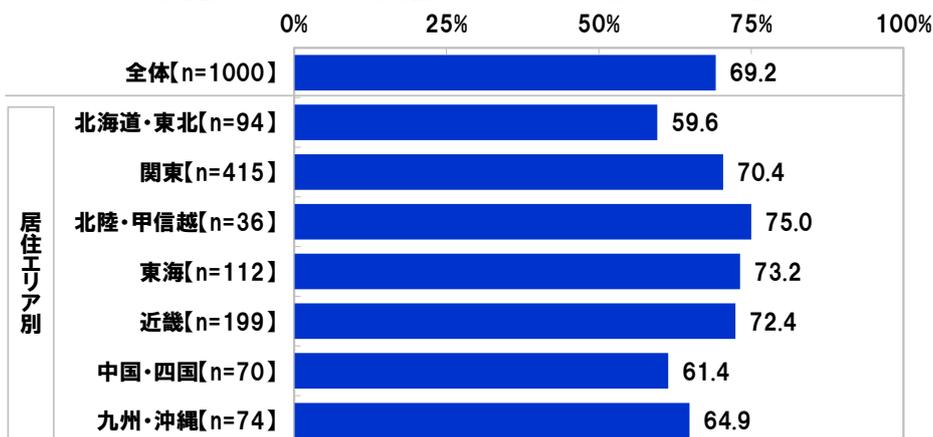
[図2]

◆普段のくらしの中で行っている“サステナブルな社会の実現につながる行動” [複数回答形式] ※上位15位までを表示



[図3]

◆サステナブルな社会の実現につながる行動としてエコバッグを使っている人の割合





- ◆「企業は環境問題(E)に配慮した取り組みを積極的に行うべきだと思う」93%
- ◆「企業は社会問題(S)に配慮した取り組みを積極的に行うべきだと思う」94%
- ◆「企業は企業統治(G)に配慮した取り組みを積極的に行うべきだと思う」93%

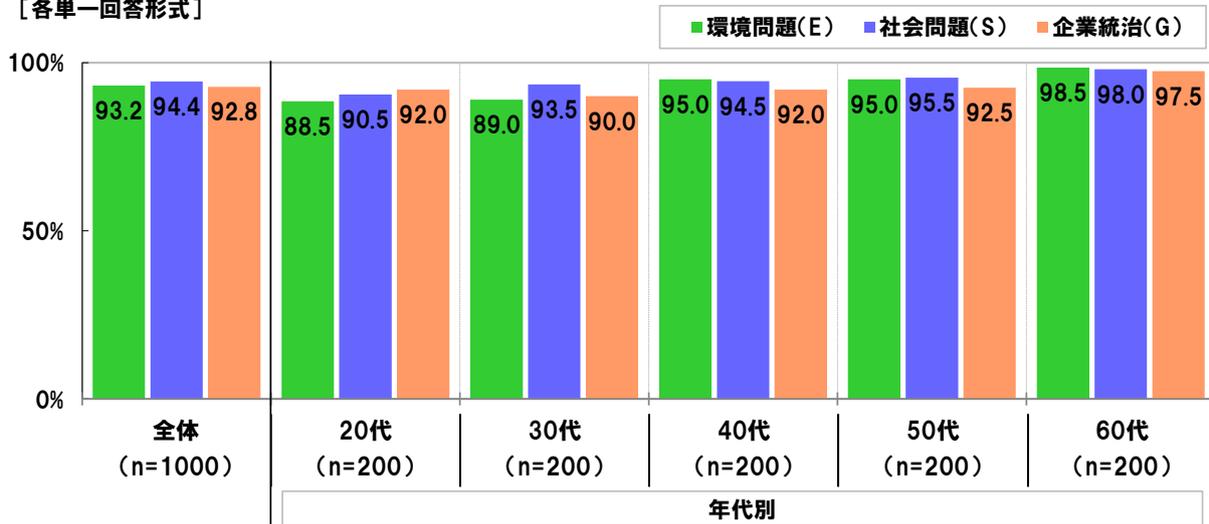
次に、“ESG”について質問しました。“ESG”は環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)の頭文字をとったもので、環境問題・社会問題・企業統治に配慮する考え方を意味します。

全回答者(1,000名)に、企業がESGに配慮した取り組みを積極的に行うべきだと思うか聞いたところ、同意する人の割合は、【環境問題(E)】では93.2%、【社会問題(S)】では94.4%、【企業統治(G)】では92.8%と、いずれも9割を超え、大多数の人がESGに対する積極的な姿勢を企業経営に求めるという意識が明らかになりました。尚、環境問題への取り組みでは省エネ活動やCO2排出量の削減、社会問題への取り組みでは人権問題への対応や労働環境の改善、企業統治への取り組みでは積極的な情報開示や社外取締役の設置などが具体例として挙げられます。

年代別にみると、【環境問題(E)】(98.5%)、【社会問題(S)】(98.0%)、【企業統治(G)】(97.5%)のいずれにおいても、60代が最も高くなりました。[図4]

[図4]

◆企業は環境問題(E)・社会問題(S)・企業統治(G)に配慮した取り組みを積極的に行うべきだと思う人の割合
[各単一回答形式]





▼ ESG 投資に対する意識・実態

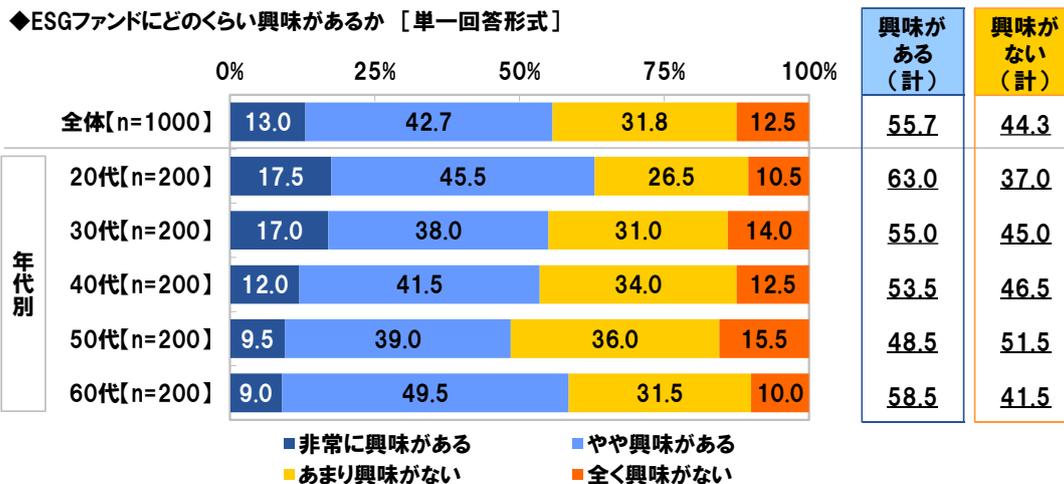
- ◆「ESG ファンドに興味がある」は 56%と半数超、一方「ESG ファンドへの投資を行ったことがある」は僅か 15%
- ◆20 代では 63%が「ESG ファンドに興味がある」、27%が「ESG ファンドへの投資を行ったことがある」と回答
- ◆ESG ファンドに興味がある人の 77%が ESG ファンドへの投資経験を持たない実状が明らかに

ESG ファンドへの投資について質問しました。ESG ファンドとは、環境 (Environment)・社会 (Social)・企業統治 (Governance) に配慮した取り組みに積極的かどうかを投資の判断材料にするファンドのことです。

まず、全回答者 (1,000 名) に、ESG ファンドにどのくらい興味があるか聞いたところ、「非常に興味がある」が 13.0%、「やや興味がある」が 42.7%で、合計した『興味がある (計)』は 55.7%となりました。

年代別にみると、ESG ファンドに興味がある人の割合は、20 代 (63.0%) が最も高くなりました。【図 5】

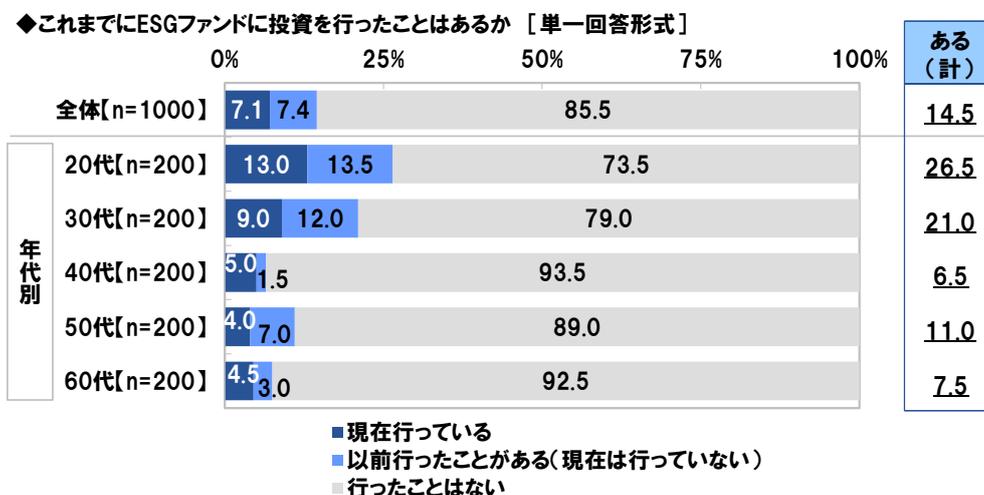
【図 5】



また、これまでに ESG ファンドに投資を行ったことがあるか聞いたところ、「現在行っている」が 7.1%、「以前行ったことがある (現在は行っていない)」が 7.4%で、合計した『ある (計)』は 14.5%、「行ったことはない」は 85.5%となりました。実に全体の半数超が ESG ファンドに興味がありました、実際に ESG ファンドへの投資経験がある人は 7 人に 1 人とどまるという結果となりました。

年代別にみると、ESG ファンドへの投資経験がある人の割合は、20 代 (26.5%) が最も高くなりました。【図 6】

【図 6】

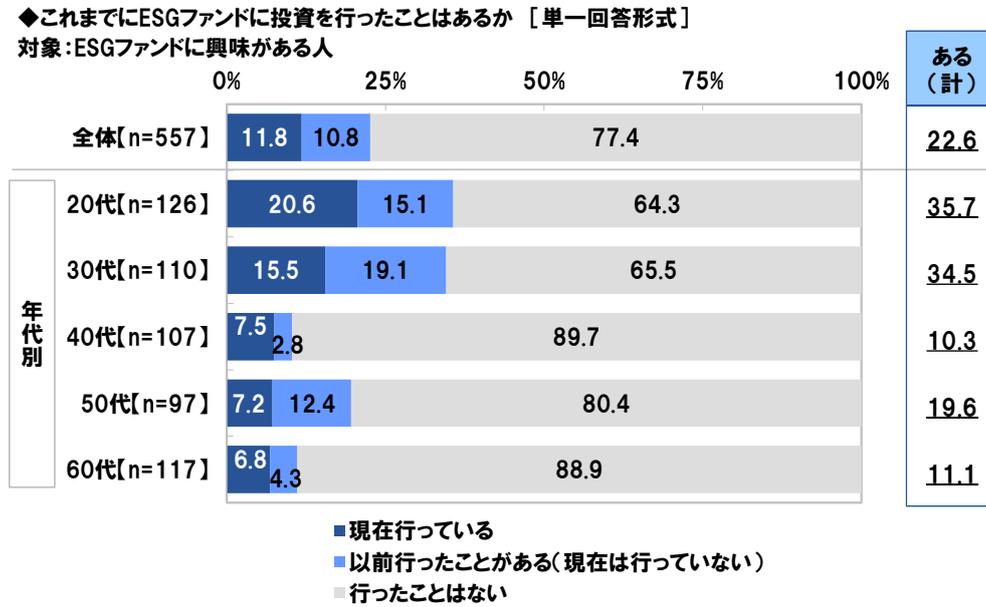




さらに、ESG ファンドに興味がある人(557 名)について、ESG ファンドへの投資経験をみると、投資を行ったことがある人の割合(『ある(計)』)は 22.6%、「行ったことはない」は 77.4%となりました。ESG ファンドに対する興味・関心を抱いてはいるものの、ESG ファンドへの投資経験を持たないという人が多い結果となりました。

年代別にみると、ESG ファンドへの投資を行ったことがない人の割合は、40 代(89.7%)と 60 代(88.9%)が高くなりました。【図 7】

【図 7】



◆ESG ファンドへの投資をしている理由

TOP3「ESG 投資が注目されている」「ESG 投資市場が年々拡大」「ESG に取り組む企業を応援したい」

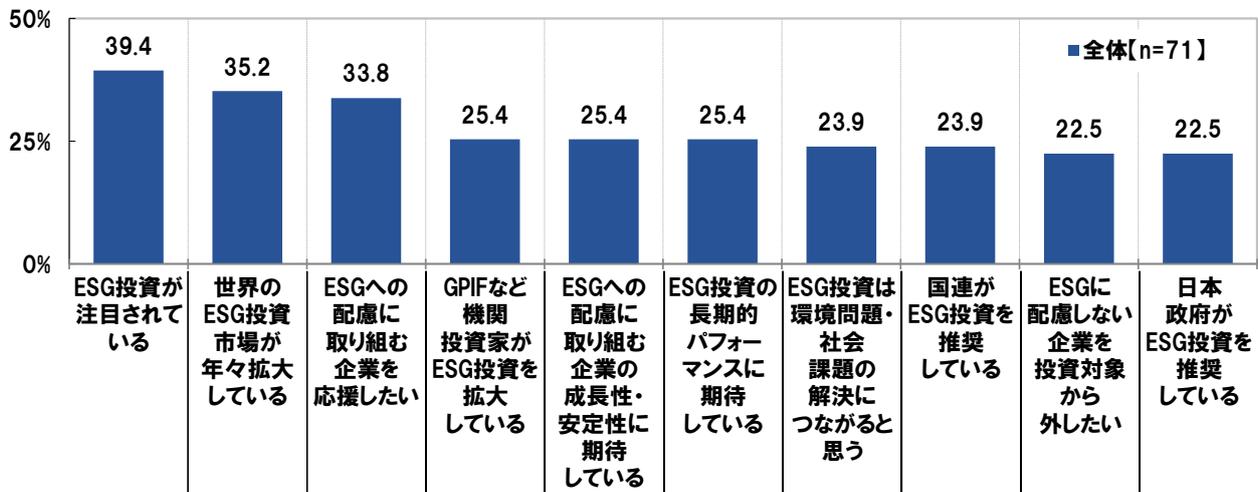
次に、ESG ファンドへの投資を行っている理由について質問しました。

ESG ファンドへ現在投資を行っている人(71 名)に、ESG ファンドへの投資を行っている理由を聞いたところ、「ESG 投資が注目されている」(39.4%)が最も高くなりました。次いで高くなったのは、「世界の ESG 投資市場が年々拡大している」(35.2%)、「ESG への配慮に取り組む企業を応援したい」(33.8%)、「GPIF など機関投資家が ESG 投資を拡大している」「ESG への配慮に取り組む企業の成長性・安定性に期待している」「ESG 投資の長期的パフォーマンスに期待している」(いずれも 25.4%)でした。ESG 投資に対する世界的な注目度の高まりや、ESG 投資市場の規模拡大が、ESG ファンドへの投資を後押ししている実状が明らかになりました。[図 8]

[図 8]

◆ESGファンドへの投資を行っている理由 [複数回答形式] ※上位10位までを表示

対象: ESGファンドへ現在投資を行っている人

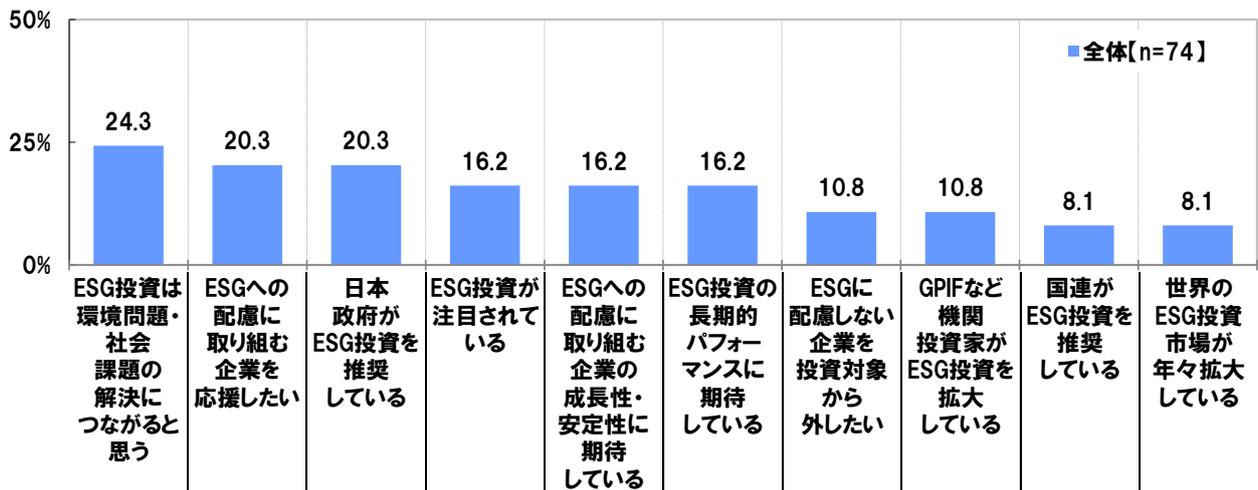


過去に ESG ファンドへの投資を行ったことがあるが現在は行っていない人(74 名)に、ESG ファンドへの投資を行っていた理由を聞いたところ、「ESG 投資は環境問題・社会課題の解決につながると思う」(24.3%)が最も高くなり、「ESG への配慮に取り組む企業を応援したい」「日本政府が ESG 投資を推奨している」(いずれも 20.3%)、「ESG 投資が注目されている」「ESG への配慮に取り組む企業の成長性・安定性に期待している」「ESG 投資の長期的パフォーマンスに期待している」(いずれも 16.2%)が続きました。[図 9]

[図 9]

◆ESGファンドへの投資を行っていた理由 [複数回答形式] ※上位10位までを表示

対象: 過去に ESGファンドへの投資を行ったことがあるが現在は行っていない人



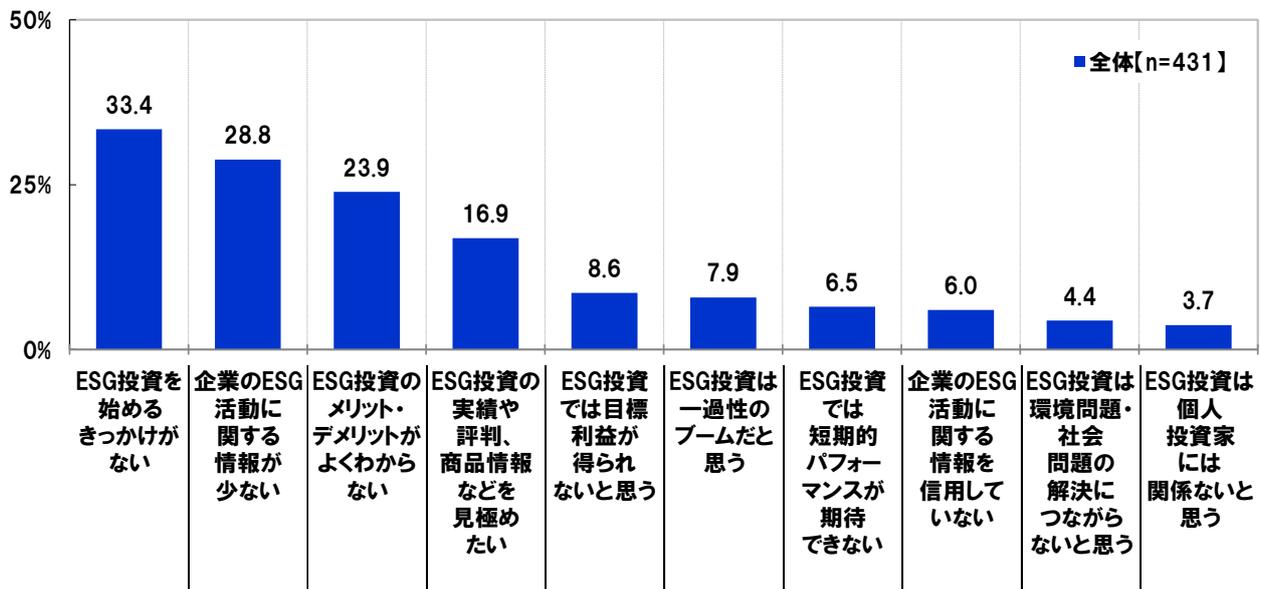
◆ESG ファンドへの投資に興味はあっても実際に行っていない理由

TOP3「始めるきっかけがない」「企業の ESG 活動に関する情報が少ない」「メリット・デメリットがわからない」

また、ESG ファンドへの投資に興味はあるが投資を行ったことがない人(431 名)に、ESG ファンドに投資を行ったことがない理由を聞いたところ、「ESG 投資を始めるきっかけがない」(33.4%)が最も高くなりました。次いで高くなったのは、「企業の ESG 活動に関する情報が少ない」(28.8%)、「ESG 投資のメリット・デメリットがよくわからない」(23.9%)、「ESG 投資の実績や評判、商品情報などを見極めたい」(16.9%)、「ESG 投資では目標利益が得られないと思う」(8.6%)でした。ESG 投資について理解する機会の増加や、ESG に配慮する企業の取り組み・ESG ファンドの運用実績などに関する情報を得る機会の増加が、日本の ESG 投資市場拡大につながることを示唆する結果となりました。
[図 10]

[図 10]

◆ESGファンドへの投資に興味があるものの、ESGファンドに投資を行ったことがない理由 [複数回答形式] ※上位10位までを表示
対象: ESGファンドへの投資に興味はあるが投資を行ったことがない人





◆重視したい ESG 投資の手法 「サステナビリティ・テーマ投資」がダントツ

ESG 投資の普及団体 GSIA(グローバル・サステナブル投資連合)は、ESG 投資を7つに分類(※)しています。

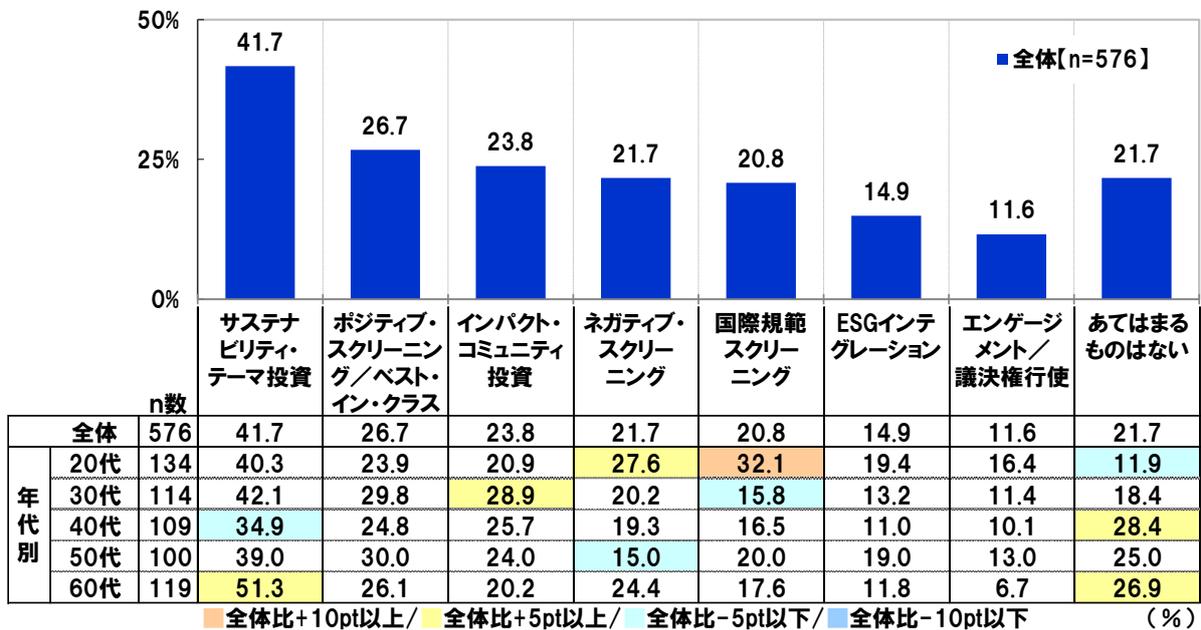
ESG ファンドに興味がある人または ESG ファンドへの投資を行ったことがある人(576名)に、GSIA が分類している ESG 投資の手法を提示し、どの手法を重視したいと思うか聞いたところ、「サステナビリティ・テーマ投資」(41.7%)が最も高くなりました。再生可能エネルギーなどサステナビリティ(持続可能性)関連テーマを打ち出すファンドへの投資を重視する人が多いようです。次いで高くなったのは、「ポジティブ・スクリーニング/ベスト・イン・クラス」(26.7%)、「インパクト・コミュニティ投資」(23.8%)、「ネガティブ・スクリーニング」(21.7%)、「国際規範スクリーニング」(20.8%)でした。

年代別にみると、20代では「ネガティブ・スクリーニング」(27.6%)、「国際規範スクリーニング」(32.1%)、30代では「インパクト・コミュニティ投資」(28.9%)、60代では「サステナビリティ・テーマ投資」(51.3%)が、それぞれ全体と比べて高くなりました。【図 11】

[図 11]

◆重視したい ESG 投資の手法 [複数回答形式]

対象: ESG ファンドに興味がある人または ESG ファンドへの投資を行ったことがある人



※各手法について、次のような説明を付して聴取した。

- ・サステナビリティ・テーマ投資
: 再生可能エネルギーや持続可能な農業といった特定のテーマに特化して投資する方法。
- ・ポジティブ・スクリーニング/ベスト・イン・クラス
: ESG 関連の評価が高かった企業・銘柄を選別し、集中投資する方法。
- ・インパクト・コミュニティ投資
: 投資先企業の事業がもたらす社会や環境へのインパクトを重視する投資手法。
- ・ネガティブ・スクリーニング
: 武器・たばこ・ポルノ・ギャンブル・アルコール・原子力発電・動物実験・化石燃料など、特定業界の企業を投資対象から除外する方法。
- ・国際規範スクリーニング
: ESG 分野における国際規範を基に、基準をクリアしていない企業を投資対象から除外する方法。(国際規範の例: 児童労働や強制労働、環境ルール違反など)
- ・ESG インテグレーション
: ESG のスコアに応じて、投資配分を変える方法。
- ・エンゲージメント/議決権行使
: 株主としての立場から、企業の ESG に積極的に働きかける方法。



◆どのような ESG 活動に取り組む企業に投資したいと思うか？

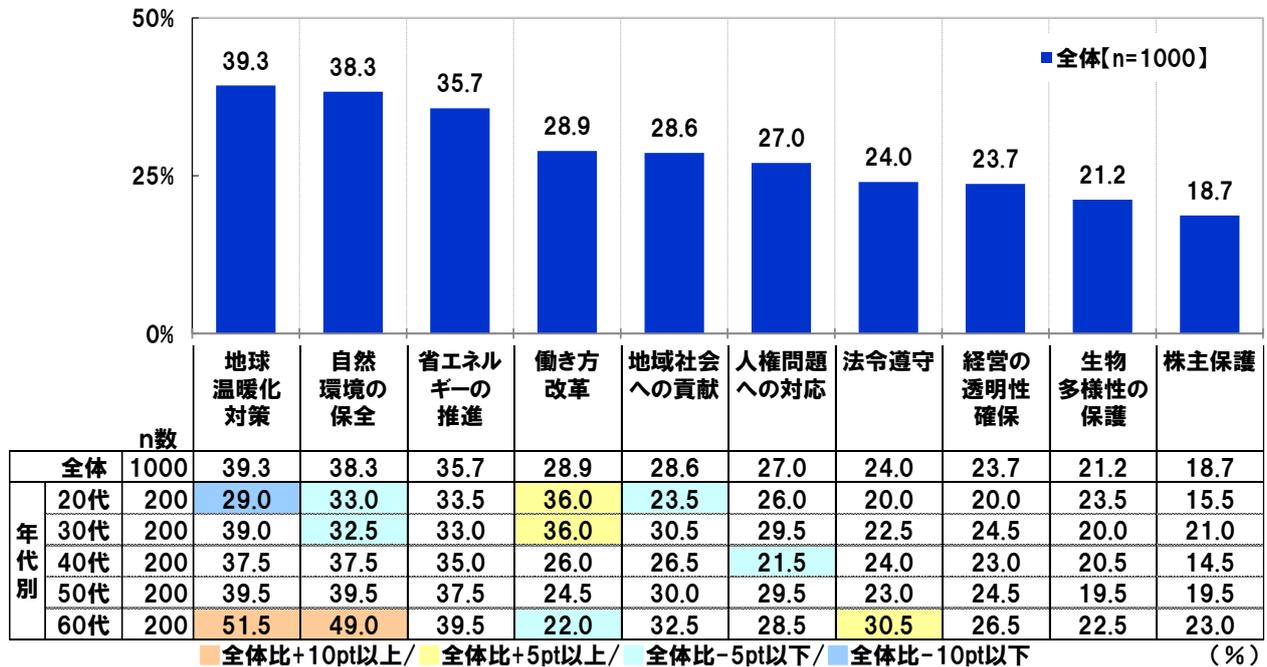
TOP3「地球温暖化対策」「自然環境の保全」「省エネルギーの推進」、20代では「働き方改革」が1位

全回答者(1,000名)に、どのような ESG 活動に取り組む企業に投資したいと思うか聞いたところ、「地球温暖化対策」(39.3%)が最も高くなり、「自然環境の保全」(38.3%)、「省エネルギーの推進」(35.7%)が続きました。“ESG”のうち、“E(環境)”に配慮した取り組みを行う企業を投資対象として魅力を感じる人が多いようです。次いで高くなったのは、「働き方改革」(28.9%)、「地域社会への貢献」(28.6%)、「人権問題への対応」(27.0%)でした。

年代別にみると、20代・30代では「働き方改革」(いずれも36.0%、20代1位・30代2位)、60代では「地球温暖化対策」(51.5%、1位)や「自然環境の保全」(49.0%、2位)、「法令遵守」(30.5%、5位)が、それぞれ全体と比べて高くなりました。[図12]

[図12]

◆どのような ESG 活動に取り組む企業に投資したいと思うか [複数回答形式] ※上位10位までを表示





▼サステナブル社会のリーダーや社外取締役役に相応しい人物のイメージ

◆サステナブル社会の実現に向けてリーダーになってほしい歴史上の人物

1位「徳川家康」2位「坂本龍馬」3位「織田信長」4位「渋沢栄一」5位「豊臣秀吉」

◆サステナブル社会の実現に向けてリーダーになってほしいアニメキャラ

「ドラえもん」がダントツ、2位「モンキー・D・ルフィ」3位「孫悟空」4位「アンパンマン」5位「龍門炭治郎」

◆社外取締役に相応しいと思う歴史上の人物 1位「徳川家康」2位「織田信長」3位「渋沢栄一」

◆社外取締役に相応しいと思うアニメキャラ 1位「ドラえもん」2位「江戸川コナン」3位「アンパンマン」

最後に、“サステナブル”や“ESG”をテーマに、イメージに合う歴史上の人物・アニメキャラについて質問しました。

全回答者(1,000名)に、サステナブル社会の実現に向けてリーダーになってほしい歴史上の人物・アニメキャラを聞いたところ、【歴史上の人物】では1位「徳川家康」(85名)、2位「坂本龍馬」(69名)、3位「織田信長」(67名)、4位「渋沢栄一」(51名)、5位「豊臣秀吉」(22名)となり、リサイクルやリユースを普段のくらしで実践する循環型経済社会が続いた江戸時代の礎を創った徳川家康がトップとなりました。【図13】

【アニメキャラ】では「ドラえもん(ドラえもん)」(119名)がダントツとなりました。2位以降には、2位「モンキー・D・ルフィ(ONE PIECE)」(35名)、3位「孫悟空(ドラゴンボール)」(28名)、4位「アンパンマン(それいけ!アンパンマン)」(24名)、5位「龍門炭治郎(鬼滅の刃)」(22名)と、仲間を懸命に応援したり、大事にしたりするシーンが印象的なキャラクターが挙がりました。【図14】

[図13]

◆サステナブル社会の実現に向けてリーダーになってほしい歴史上の人物 [自由回答形式] ※上位10位までを表示 全体[n=1000]

順位	回答	名
1位	徳川家康	85
2位	坂本龍馬	69
3位	織田信長	67
4位	渋沢栄一	51
5位	豊臣秀吉	22
6位	聖徳太子	19
7位	マハトマ・ガンジー	15
8位	西郷隆盛	13
9位	福沢諭吉	11
10位	伊藤博文 / 卑弥呼	9

[図14]

◆サステナブル社会の実現に向けてリーダーになってほしいアニメキャラ [自由回答形式] ※上位10位までを表示 全体[n=1000]

順位	回答	名
1位	ドラえもん(ドラえもん)	119
2位	モンキー・D・ルフィ(ONE PIECE)	35
3位	孫悟空(ドラゴンボール)	28
4位	アンパンマン(それいけ!アンパンマン)	24
5位	龍門炭治郎(鬼滅の刃)	22
6位	アトム(鉄腕アトム)	13
7位	ナウシカ(風の谷のナウシカ)	12
8位	フグ田サザエ(サザエさん)	11
9位	江戸川コナン(名探偵コナン)	10
10位	うずまきナルト(NARUTO -ナルト-) トトロ(となりのトトロ)	9

また、社外取締役に相応しいと思う歴史上の人物・アニメキャラを聞いたところ、【歴史上の人物】では1位「徳川家康」(69名)、2位「織田信長」(58名)、3位「渋沢栄一」(49名)、4位「坂本龍馬」(43名)、5位「豊臣秀吉」(30名)となり、NHK大河ドラマ『青天を衝け』の主人公で約500もの企業の設立や経営に携わった渋沢栄一がTOP3にランクインしました。【図15】

【アニメキャラ】では1位「ドラえもん(ドラえもん)」(49名)、2位「江戸川コナン(名探偵コナン)」(36名)、3位「アンパンマン(それいけ!アンパンマン)」(14名)、4位「モンキー・D・ルフィ(ONE PIECE)」(11名)、5位「孫悟空(ドラゴンボール)」(10名)となり、正義感の強い誠実なキャラクターや、揺るぎない価値観・倫理観を持つキャラクターが挙がりました。【図16】

[図15]

◆社外取締役に相応しいと思う歴史上の人物 [自由回答形式] ※上位10位までを表示 全体[n=1000]

順位	回答	名
1位	徳川家康	69
2位	織田信長	58
3位	渋沢栄一	49
4位	坂本龍馬	43
5位	豊臣秀吉	30
6位	聖徳太子	28
7位	西郷隆盛 福沢諭吉	17
9位	松下幸之助	13
10位	明智光秀	12

[図16]

◆社外取締役に相応しいと思うアニメキャラ [自由回答形式] ※上位10位までを表示 全体[n=1000]

順位	回答	名
1位	ドラえもん(ドラえもん)	49
2位	江戸川コナン(名探偵コナン)	36
3位	アンパンマン(それいけ!アンパンマン)	14
4位	モンキー・D・ルフィ(ONE PIECE)	11
5位	孫悟空(ドラゴンボール)	10
6位	お茶の水博士(鉄腕アトム) フグ田サザエ(サザエさん) 龍門炭治郎(鬼滅の刃)	8
9位	アトム(鉄腕アトム)	7
10位	五条悟(呪術廻戦)	6



■■ 調査概要 ■■

- ◆ 調査タイトル : ESG投資に関する調査2021
- ◆ 調査対象 : ネットエイジアリサーチのインターネットモニター会員を母集団とする
全国の20歳～69歳の投資経験者
(日本株式、外国株式、公社債、投資信託、REIT、金・プラチナなどの
金融資産への投資経験がある人)
- ◆ 調査期間 : 2021年8月23日～8月24日
- ◆ 調査方法 : インターネット調査
- ◆ 調査地域 : 全国
- ◆ 有効回答数 : 1,000サンプル

	20代	30代	40代	50代	60代	計
男性	100	100	100	100	100	500
女性	100	100	100	100	100	500

- ◆ 実施機関 : ネットエイジア株式会社

■■ 報道関係の皆様へ ■■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、
「スパークス・アセット・マネジメント調べ」と付記のうえ
ご使用いただきますようお願い申し上げます。

■■ 本調査に関するお問合せ窓口 ■■

会社名 : スパークス・アセット・マネジメント株式会社
所在地 : 東京都港区港南 1-2-70 品川シーズンテラス 6 階

会社 HP : <https://www.sparx.co.jp/>

担当 : 広報室
メールアドレス : pr_media@sparxgroup.com

TEL : 03-6711-9200(代表)
FAX : 03-6711-9201(代表)